

かつて誰も味わったことのない獰猛な映画体験



1930年、日本統治下の台湾で起きた壮絶な事件を渾身の映画化! アジア各地で驚異の大ヒット! 価値観が乱される4時間半!!

2011年、第48回台湾金馬獎にて最多11部門にノミネートされ見事グランプリを受賞、大ヒットを記録して台湾中を沸かせた1本の映画があった。ヴェネチア国際映画祭のワールドプレミア上映では世界の映画人たちを驚かせ、ここ日本でも、第7回大阪アジア映画祭にて超満席の熱狂のなか圧倒的な支持を得て観客賞に輝いた映画。それが『セデック・バレ』だ。

1895年から50年間続いた台湾の日本統治時代。そのなかで起きた原住民族による武装蜂起「霧社事件」を描く本作は、二部構成の4時間36分におよぶ台湾映画史上最大の歴史大作である。第一部『太陽旗』では苦しい生活を強いられてきたセデック族の人々が部族の誇りをかけて武装蜂起するまでが描かれ、第二部『虹の橋』では、日本の警察と日本軍による報復、憎しみや家族愛といった感情が交錯する中でセデック族の人々を襲う悲劇が描かれる。

監督は長編デビュー作『海角七号/君想う、国境の南』で台湾映画史上歴代第1位の大ヒットを記録したウエイ・ダーション。彼は、霧社事件を扱った漫画を読み、

血がたぎるような想いから映画化を決意したという。1999年から制作に取りかかり、『海角七号〜』をヒットさせることで自らの実力を証明し出資を募った。そして、国際的映画監督ジョン・ウーがプロデューサーに加わり、日本映画美術界を代表する種田陽平がプロダクションデザイナーを担当。徹底した歴史考証に基づき、壮大なスケールで霧社の村を見事に再現した。セデック族のキャストには台湾原住民族が起用され、安藤政信、木村祐一、原住民族の血を引く台湾人女優のピビアン・スーらが脇を固める。さらに、『海角七号〜』に出演した田中千絵、マールーロン、ジェン・ジーウェイなどが特別出演。構想から10年以上、アジアの映画人が結集し、エンタテインメントを凌駕する一大巨編が誕生した。

本作のタイトル『セデック・バレ』とは「真の人」を意味するセデック語。これは、死を覚悟しながら、それぞれが信じるもののため戦った者たちの魂の尊厳を問う物語である。そのすさまじい生き様は現代に生きる我々に何を問いかけるのか。

第一部 太陽旗 台湾中部の山岳地帯に住む誇り高き狩猟民族・セデック族。その一集落を統べる頭目の子モーナ・ルダオは村の外内に勇名をとどろかせていた。1895年、日清戦争で清が敗れると、彼らの暮らす山奥にも日本の統治が広がり、平穏な生活は奪われていく。それから35年、頭目となったモーナは依然として日々を耐え抜いていた。そんな中、日本人警察官とセデック族の一人が衝突したことをきっかけに、長らく押さえ込まれてきた住民たちが立ち上がり…。

第二部 虹の橋 連合運動会が開かれていた霧社公学校を襲撃したセデックの決起部隊の手によって、戦術を持たない多くの日本人は女子供の区別なく命を奪われた。日本軍は直ちに鎮圧を開始。山岳地帯の地の利を活かして戦うセデックの前に苦戦を強いられるが、圧倒的な武力を誇る日本軍と警察を前に、セデックの戦士たちは一人また一人と命を落としていく。男たちが絶望的な戦いに挑むなか、セデックの女たちもまた選択を迫られ、それぞれが信じる道を選ぶことに。決着のときは近づいていた…。

霧社事件 1930年10月27日に台中州能高郡霧社(現在の南投県仁愛郷)で起こった台湾原住民族による日本統治時代後期における最大規模の抗日暴動事件。霧社セデック族マヘボ社の頭目モーナ・ルダオを中心とした6つの社(集落)の男たち300人ほどが、まず霧社各地の駐在所を襲った後に霧社公学校で行われていた小学校・公学校・蕃童教育所の連合運動会を襲撃。日本人のみが狙われ、約140人が殺害された。現地の警察には霧社セデック族の警察官が2名おり、彼らは事件発生後にそれぞれ自殺。その後の日本軍の反攻により、蜂起した6社の約1000人が死亡し、生存者約550人が投降した。

「台湾原住民族」とは、17世紀頃の福建人移民前から居住していた、台湾の先住民族の正式な呼称。中国語で「先住民」と表記すると、「すでに滅んでしまった民族」という意味が生じるため、この表記は台湾では用いられていない。現在では憲法で「原住民族」と規定されている。



出演：リン・チンタイ ダーデン 安藤政信 マー・ジーシアン ピビアン・スー 木村祐一 ルオ・メイリン ランティ・ウェン 監督・脚本・編集：ウエイ・ダーション 製作：ジョン・ウー テレンス・チャン ホアン・ジージン
撮影：チン・ティンチャン プロダクションデザイナー：種田陽平 字幕翻訳：島根磯美 字幕監修：春山明哲 三澤真美恵 提供：マクザム 太秦 配給：太秦
2011年/台湾/カラー/セデック語・日本語/第一部「太陽旗」144分・第二部「虹の橋」132分・計276分/シネマコープ/HD ©Copyright 2011 Central Motion Picture Corporation & ARS Film Production ALL RIGHTS RESERVED. www.u-picc.com/seediqbale



■「コザ x 桜坂」シネマコネクション
8/30(金)～8/31(土)〈2日間限り〉
沖縄市民小劇場あしびなー(コリンザ3F)

★前売券 1,200円好評発売中!! (プレイガイド)あしびなー受付
ファミリーマート各店(イープラス)・ローソンチケット・チケットぴあ(照屋楽器店)
●一般当日 1,600円 シニア当日 1,100円 FunC会員当日 1,000円
●火曜レディースデー 1,100円 ●コリンザの駐車場が御利用になれます(5時間無料)

上映時間=【第一部】10:30/16:20

共催：NPOコザまち社中 問合せ：桜坂劇場 098-860-9555

上映時間=【第二部】13:30/19:20